

県議会議員

# あらい、絹世の磯っ子レポート

夢と希望のある神奈川を



<http://www.araikinuyo.jp>

## 就職氷河期世代の活躍支援に かながわプラットフォーム設置

バブル経済崩壊後の経済停滞により新卒者の採用が滞り、非正規雇用など厳しい雇用状況に置かれている就職氷河期世代（35～44歳）の活躍支援について神奈川県での土台なる「かながわ就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」が8月中旬、設置されました。昨年、政府が同世代支援プログラムを取りまとめ、取り組みを始めたことに沿って設けられたもので、同プラットフォームのメンバーは県内の関係団体・国の関係機関やマスコミ、県、市町村が一体となったもの。長期にわたり無業の状態にある者、ひきこもりなど社会参加に向けた支援を必要とする者も含め就職、正社員化や社会参加の実現に向けた取り組みを推進していく母体となる組織です。県では「当面、10月をめどに事業実施計画を策定することになっている」とのことです。

同世代は、今回の新型コロナウイルスによる経済へのダメージで労働環境が一層厳しさを増していますが、政府の試算によると35～44歳の非正規労働者数は全国で約54万人、県内では約3万9000人に上ると推計されています。同プラットフォームのメンバーは商工会議所連合会、経営者協会、経済同友会、商工連合会、中小企業団体中央会、日本労働組合総連合会、高齢・障害・求職者雇用支援機構の県の組織と、神奈川新聞社、テレビ神奈川、県町村会、横浜・川崎・相模原市、神奈川労働局、関東経済産業局など国の5機関、県の19団体・機関。これらが一体となって取り組むことにより、実効性のあるもの、気運が社会全般で盛り上がるものになるようにしていこうというものです。

当面の活動は事業実施計画を作成することですが、県ではこの中にKPI（重要業績評価指標）＝非正規雇用者を何人、正規雇用者にしていくかの目標＝も盛り込んだものにしていくことにしているといいます。

プラットフォームの設置と別に県では同世代への支援策として、専門的なスキルを身につけることにより早期に就職できるよう県立総合職業技術校のものづくり技術などを短期で習得できるコースに今年4月入校生から新たに同世代向けの募集優先枠を設けています。東部と西部の両校合わせ定員は年間72人。15コース（訓練期間6カ月、1年）があります。4月募集では5人が入校。9月は新型コロナウイルスの関係で中止し、10月の入校生を募集しているということです。



### コレが言いたい!

設置された「かながわプラットフォーム」は、氷河期世代の非正規雇用をはじめ、ひきこもりなど社会参加に向けた支援を必要とする者も対象に含まれています。私は、今年2月、一般質問で「ひきこもりの方に対する就労支援等の取組」について質問しました。知事からは「かながわプラットフォームの仕組みを活用し、就職氷河期世代のひきこもりの状態にある方が抱える多様な課題に対して、様々な機関と連携し、しっかりとそのサポートを行う。」との答弁を受けました。ひきこもりの方に対する支援は、医療・福祉などとの連携も重要ですので、かながわプラットフォームとそれらが連携する仕組みづくりを構築していく必要があります。



9月7日(月)より12月17日(木)の101日間、第三回定例会が行われます。定例会中の10月14日(水)から11月2日(月)には、令和元年度に対する決算特別委員会が開会されます。令和元年度の決算見込額は、歳入が1兆8,417億6,500余万円、歳出が1兆8,233億8,200余万円。実質収支は、36億8,300余万円の黒字となりましたが、単年度収支では2年連続の赤字となっています。

# 磯子あれ? これ?

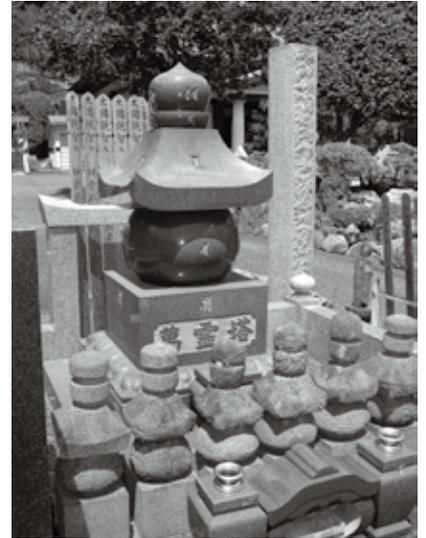
## 龍珠院(りゅうしゅいん) (磯子区岡村)

龍珠院を開山したのは、現南足柄市の道了尊最乗寺住職の養拙宗牧(ようせつしゅうぼく)、開基は小田原北条一門の武将北条綱成が、息子の氏繁とされています。開創は大永2(1522)年で、磯子区でただ一つの曹洞宗のお寺です。

明治維新後の神仏分離の混乱時に、室町時代に北条氏繁・氏勝が書いた当院の開基に関する書状が襖の下張りに密かに保存されたという逸話があります。現在、古文書の所在は不明となっています。

寺の境内に「萬霊の塔」があります。元弘3(1333)年に新田義貞の軍勢が北条氏を攻め滅ぼしたときに、戦から落ちのびた武士36名が岡村まで来たところで追っ手に囲まれ、当院向かいの山中で名だたる武将が自刃しました。武士7名が残され、その子孫が「岡村草分け七軒会」を結成し、その子孫たちが有志の方々と共に鎌倉武士の慰霊塔を平成9年に建立したものです。

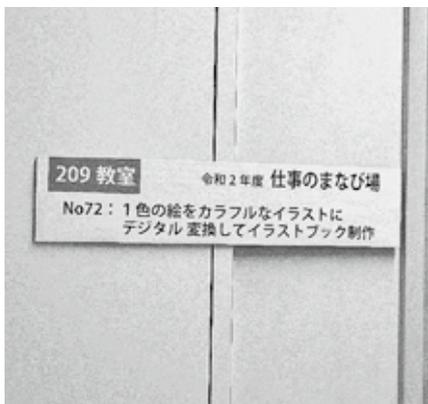
平成30(2018)年の台風24号の暴風雨により、境内入り口にあった高さ30m、樹齢500年の銀杏の大木が倒れてしまい、景観が変わりました。



参考:磯子の史話、住職のはなし

### 活動報告

8月3日(月)、一般社団法人神奈川県専修学校各種学校協会主催の「仕事の学び場」の見学会に出席しました。「仕事の学び場」は2004年度から開始した、神奈川の高等学校と専修学校の教育連携事業です。専修学校の実習施設を活用した疑似体験を通じ、高校生などの職業観・就労観を育成し、自分の夢・将来の進路を明確にして目的を持ち勉強をしてもらう場です。今年は新型コロナによる臨時休校措置の影響を受け一部中止または日程変更となりましたが、2019年度は専修学校51校、93プログラムの講座が開催され、神奈川県内・県外の高等学校と中等教育学校60校が参加しました。



### あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井(株)/(株)メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成31年4月 県議会議員3期目当選
- 産業労働常任委員会委員
- 議会運営委員会委員
- 予算委員会委員長
- かながわ自民党女性議員局長

